赤松学舎　世田谷区立松沢小学校

学校だより　７月号

令和６年６月２７日（木）
世田谷区立松沢小学校　校長　寺﨑　晶子
URL　http://school.setagaya.ed.jp/mawa/

「楽しい」とは

校長　寺﨑　晶子

学校生活において「楽しい」は絶対に欠かせません。今年度の松沢小学校のスローガンを児童にはわかりやすい言葉で「みんなで楽しく　みんなが楽しく」と伝えています。楽しいという言葉はよく使いますが、では、学校において「楽しい」とは、具体的にどのような子供の姿を指すのでしょうか。

６月の全校朝会では「楽しい」を別の言葉で言うとどのような言葉が考えられるか話しました。「うれしい　できた　わかった　気が付いた　感動した　もっとやりたい　わくわくする」などを紹介しました。まだまだ他にもあるように思います。

６月１２日から１４日まで、くすのき学級の４・５・６年生と一緒に河口湖連合移動教室に行ってきました。最終日の閉園式で、本校の６年生が代表で言った言葉が印象的でした。「下級生に教えることが大変でした。これからも、教えてあげたいです。」この子は、下級生にとても慕われていて、３日間、下級生の良い手本になっていました。大変だったと言っていますが、その表情は充実感で輝いていました。自分ができるようになることはもちろん、教えてあげることで誰かができるようになることも楽しいのだと感じました。

また、先日、他校で６年生の体育の授業を見る機会があり、そこで、新たな「楽しい」に出会いました。この６年生の児童は、なかなか前転ができない友達に一生懸命教えていました。そのおかげで、できなかった友達ができるようになりました。自分のことのように喜んでいましたが、自分はもう少しというところまではいくのですが、なかなかできません。とうとう時間が来てしまいました。「悔しいなあ。もっとやりたかったなあ。」とつぶやく姿から、この子の可能性を感じました。「悔しい」という感情も、捉え方によっては「楽しい」に含まれるのではないでしょうか。

笑顔ならば楽しいというような見方だけでなく、子供の感情やこれからの可能性にも注目することで、より質の高い「楽しい」を経験し、共有することができると思います。１学期最後の７月、そして夏休みに、ぜひ、質の高い「楽しい」をたくさん経験してほしいです。

「人格の完成をめざして」７月のテーマ	生　活　目　標
良　心 ・何がよいことかを考え、 自分自身で行動を決めていますか。	**自分の言動をふりかえろう** ・友達の気持ちを大切にして話そう。 ・はい、どうぞ、ありがとう、ごめんなさいをきちんと言おう。 ・ハンカチ、ティッシュを身に付けよう。

＜7月の行事予定＞

数字は、各学年が「何時間授業か」を表します
下校時刻　4→1：25　　5→2：35　　6→3：25
（土曜授業　4→11：55　クラブ・委員会活動 4～6年→3：30

日	曜	学校行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年	くすのき	きはだ
1	月	保護者会（12）授業参観週間始(す)	4	4	6	6	6	6		
2	火	委員会活動 5h　セーフティ教室234h	4	4	4	4	5	5		
3	水		4	4	4	4	4	4		
4	木	保健指導　保護者会（34）	4	5	4	4	5	5		
5	金	避難訓練　保護者会（56くき） 川場移動教室説明会（5）授業参観週間終（す）	5	5	6	6	4	4		
6	土									
7	日									
8	月		5	5	5	5	5	5		
9	火	代表委員会	5	5	5	5	5	5		
10	水	安全指導	4	4	4	4	4	4		
11	木	食育指導　社会科見学（6）	5	5	6	6	6	6		
12	金	避難訓練予　すまいる指導終	5	5	6	6	6	6		
13	土	土曜授業　ネットリテラシー醸成講座(6)	4	4	4	4	4	4		
14	日	遊び場開放（13：00～17：00）								
15	月	海の日								
16	火		4	4	4	4	4	4		
17	水		4	4	4	4	4	4		
18	木	給食終	4	4	4	4	4	4		
19	金	土曜時程　終業式 日光林間学園事前健診(6)	4	4	4	4	4	4		
20	土									
21	日	夏季休業日始 松沢ビオトープくらぶ（14:00～）								
22	月	日光林間学園①(6)　個人面談①								
23	火	日光林間学園②(6)　個人面談②								
24	水	日光林間学園③(6)　個人面談③								
25	木	個人面談④								
26	金	個人面談⑤								
27	土									
28	日									
29	月	個人面談⑥　わくわく体験教室①								
30	火	個人面談⑦　わくわく体験教室②								
31	水	個人面談⑧　わくわく体験教室③								
8/1	木	個人面談⑨　わくわく体験教室④								
8/2	金	個人面談⑩　わくわく体験教室⑤								

各学年と同じ授業時数です。

【8月の予定】・個人面談　8月2日まで　・わくわく体験教室 8月2日まで　・学校休業日　8月13日～17日
【9月の予定】・9月2日　始業式　・9月3日　給食始

＜特別支援教育＞　　特別支援教育部

「特別ではない特別支援教育の充実を目指して」

松沢小学校には、くすのき学級（特別支援学級知的固定）、きはだ学級（特別支援学級肢体不自由）、すまいるルーム（特別支援教室拠点校）の３部門があり、全国的に見てもとても珍しい、そして特別支援教育を行うための環境が整っている特色があります。この特色を最大限生かし、「インクルーシブ教育システム構築」を令和３年度より推進してきました。令和３年度から実施している、教員向けの「インクルーシブシステム構築研修」も４年目を迎え、特別支援教育の充実のために、「ユニバーサルデザインを取り入れた基礎的環境設備」はもちろんのこと、「特別支援学級と通常の学級とで行う交流及び共同学習の実践」「都立久我山青光学園や都立光明学園小学部との副籍制度の理解啓発」「特別支援教育コーディネーターの育成」「学校生活支援シートの活用」等について、特別支援教育部を中心に体制整備について理解を深めました。さらに、松沢小学校の特色を生かし、「くすのき学級」「きはだ学級」「すまいるルーム」の教員が講師として行う『ミニ研修会』も年間１０回程度行います。他地区から異動されてきた教員からは、「こんなに特別支援教育が充実している学校は初めてです。」「特別支援教育についてもっと学びたい。」といった声がたくさんあがる研修会になっています。

さて、特別支援教育を推進していく中で、「特別支援」の「特別」って何なのだろう？と感じることがあります。「視力が低い人が眼鏡をかける。」「歩行することが難しい人が車いすに乗る。」これって「特別」ではなく「当たり前」なのではないかと思うのです。学校でもそれは同じで、子供たちにはそれぞれ得手不得手があり、それらを活かしたり、ツールで補ったりしながら学校生活を送っているのだと思います。くすのき学級の児童であればそれは「学習」の苦手さ、きはだ学級の児童であれば「身体的」な不自由さ、すまいるルームの児童であれば「社会性やコミュニケーション」の苦手さ等、その特性をどう克服するか、また、どう付き合っていくのかを学ぶわけです。では通常の学級ではどうでしょう？通常の学級でも、「一斉指示の理解が苦手。」「つい衝動的な言動によってトラブルが多くなってしまう。」「自分の思いを言葉にして伝えることが苦手。」等、いろいろな困難さを抱えた児童がいるはずです。そう考えると、「特別支援」とは「特別」ではなく、ごく当たり前に児童一人一人が学校生活を円滑に送るためのサポートであると思います。そこで大切なのは「一人一人の想いにしっかり耳を傾けること、その声に気付くこと、一緒にうまくいく方法を考えること。」であると考えます。「特別な支援を受ける子」ではなく、どの子にも「その子に合った支援を考えていくこと」こそが「特別支援教育」なのではないでしょうか。

松沢小学校では「特別支援教育」を「当たり前」とするため、校内委員会を月２回行います。管理職、低・中・高・特支それぞれに配置されている特別支援コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー、該当児童の学年担任団で児童一人一人の困難さを共有し、学校でできる手立てをみんなで考え、対応策を練るのです。ときには学校だけの手立てでは難しく、ご家庭の協力を得なければならないケースもあります。公立学校は様々な児童が在籍しており、一人の児童のためだけへの対応には限界があるからです。それでも、最大限児童が「学校楽しい！」「学校好き！」と思ってもらえるように教員一同「当たり前」の支援を考えて行こうと思います。

お子さんについて、「気になること」「対応に悩んでいること」「心配なこと」がある場合は、ぜひご相談ください。相談窓口はお子さんの在籍する学級担任、スクールカウンセラー、特別支援部門統括主任（すまいるルーム担任：高麗）、もちろん管理職でも構いません。いつでもご相談ください。

チーム松沢一丸となって、子供たちが安心して楽しく学校に通えるよう、尽力してまいります。今後とも学校へのご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

＜情報リテラシーについて＞　ICT 主任

世田谷区では、GIGA スクール構想として、児童が協働的に学び、自ら考え、表現するために ICT を活用した「せたがや探究的な学び」を推進しています。また、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に関する取り組みにも着手しており、児童の学びの機会の質をより多様で充実させるとともに、教員の指導方法の充実や業務負担軽減の観点から、働き方改革の実現に向けた取り組みの準備を進めています。（下記イメージ図参照）

学校での学習活動を通して育みたい資質・能力とは、「難しいことをたくさん知っていて、こたえられる子」ではなく、「コミュニケーション力や情報処理能力を駆使し、多くの情報から必要な情報を取り入れ、コーディネートしていく力」と、「与えられた教材で指導を受けた後に、教材を自ら再構築し、自分で自分の学習をコーディネートしていく力」です。その力を支えていく基礎的な能力が、情報リテラシーです。情報リテラシーとは、「情報を適切に判断し、情報を通じて意思決定していく能力」と定義されています。これは、生成 AI や新たな ICT サービスに適切に対応し、安全に活用する上で非常に重要です。松沢小学校では、７月１３日（土）に６年生を対象として、ネットリテラシー醸成講座を開催します。また、同日１４時より保護者の皆様に向けた講座も開催いたします。子供が情報リテラシー能力を身に付けるために、大人ができることについて考えていく機会にしていただければと思います。

教育ＤＸ推進の全体イメージ

子どもたちのために教員、区教委、保護者が緊密に連携して支援していくための様々な仕組みの転換

＜セーフティ教室＞　生活指導主任

セーフティ教室は、小・中・高等学校において児童・生徒の健全育成の活性化及び充実を図るとともに、保護者・都民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育の推進に資するものです。子供の非行を防止し、子供を犯罪被害から守るための取組として実施することになっています。

今年度は、７月２日（火）に行います。子供たちが身の回りに起こりうる危険について知り、自分の安全を守るための方法を理解することをねらいとしています。

北沢警察署の方に来ていただき、体育館で以下の内容をご指導いただきます。

時間	学年	内容	場所	対象の保護者
２校時（9:40～10:25）	１・２年	連れ去り防止	体育館	１・２年生
３校時（10:45～11:30）	３・４年	万引きの防止	体育館	３・４年生
４校時（11:35～12:20）	５・６年	インターネット・携帯電話等にかかわるハイテク犯罪防止	体育館	５・６年生
４校時後（12:20～12:55）	保護者	意見交換（警察の方に質問し、回答していただく）	体育館	１～６年生

ご多用とは思いますが、保護者の方にもご参加いただき、子供の非行を防止し、子供たちを犯罪被害から守れるようにするために一緒に考えていただくとともに、ご家庭で登下校中や下校後の約束を確認したり、SNS 等の家庭ルールを見直すきっかけにしたりしていただければと思います。